

第7回

# 先進インスリン療法研究会

研究会テーマ

## 21世紀のインスリン治療戦略 —最新インスリンでどこまで出来るか—

日程 2007年12月1日(土)

当番  
世話人

山田 研太郎

(久留米大学医学部 内科学講座 内分泌代謝内科部門)

会場

石橋文化センター共同ホール

〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015番地  
tel.0942-33-2271

参加  
会費

医師・メーカー 5,000円  
コメディカル 2,000円

※本研究会は現在「日本糖尿病療養指導師 認定更新のための研修会」として認定を申請しております。本制度により、(第2群) (糖尿病療養指導師研修単位)の取得が認められます。

### 演題募集

募集対象	インスリン治療に携わっている糖尿病専門医、治療に関心のある医師、糖尿病療養指導士、コメディカルスタッフ、関連企業およびインスリン治療を行っている患者さん
応募方法	ホームページより応募フォームをダウンロードできます。演題名、氏名、所属、目的、方法、結論を800字以内(図表なし)にまとめて、下記運営事務局までメールにてお送り下さい。
締切	平成19年8月31日(金)必着

運営事務局

第7回先進インスリン療法研究会 運営事務局  
(株)インターグループ内 担当:今井  
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-20-1 インターGビル  
TEL:06-6372-9345  
FAX:06-6376-2362  
E-mail:secret-2@intergroup.co.jp

主催

先進インスリン療法研究会

後援

(社)日本糖尿病学会

<http://www.7th-insulin.com/>

2007年 12月 1日 (土)

# 石橋文化センター共同ホール

## 開催概要

開催日：2007年 12月 1日 (土)

会場：石橋文化センター共同ホール

〒839-0862  
福岡県久留米市野中町1015番地  
TEL:0942-33-2271

H P : <http://www.7th-insulin.com/>

主催：先進インスリン療法研究会

後援：(社)日本糖尿病学会

(社)久留米医師会

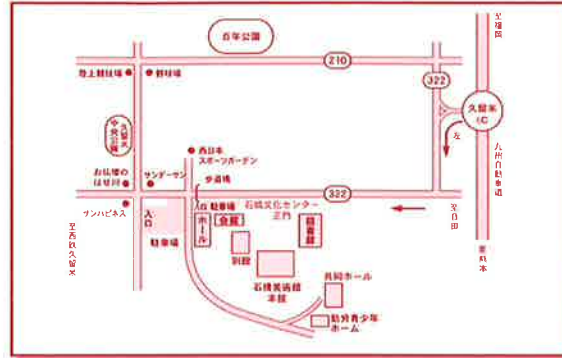
## 参加会費

医師・メーカー	5,000円
コメディカル	2,000円
患者様	無料

## 日本糖尿病療養指導士の認定更新研修単位について

本研究会は現在「日本糖尿病療養指導士の認定更新のための研修会」として認定を申請しております。本制度により、＜第2群＞(日本糖尿病療養指導研修単位)の取得が認められます。

## 会場までのアクセス



- 電車:JR久留米駅から西鉄バスで約15分(距離約3km)  
西鉄久留米駅から西鉄バスで約5分(距離約1km)  
○西鉄バス 1・7・9・20・25・40・45番系統(文化センター下車)  
※上下線ございますので、進行方向にご注意ください。  
主な行き先は、「吉井」「田主丸」「信愛女学院」です。
- お車:久留米ICから車で約10分(距離約3.5km)

## 先進インスリン療法研究会世話人

- 当番世話人  
山田 研太郎(久留米大学医学部 内科学講座 内分泌代謝内科部門)
- 代表世話人  
小林 哲郎(山梨大学医学部 第3内科)
- 世話人  
雨宮 伸(埼玉医科大学 小児科)  
粟田 卓也(埼玉医科大学 内分泌・糖尿病内科)  
石井 均(天理よろづ相談所病院 内分泌内科)  
大磯 ユタカ(名古屋大学大学院医学系研究科 糖尿病科・内分泌内科学)  
鶴井 久司(長岡赤十字病院 糖尿病内分泌代謝センター)  
川村 智行(大阪市立大学大学院 発達小児医学教室)  
佐藤 讓(岩手医科大学 糖尿病代謝内科)  
津田 晶子(木戸病院 内科)  
豊田 長康(三重大学 学長)  
難波 光義(兵庫医科大学 内科学糖尿病科)  
丸山 太郎(埼玉社会保険病院 内科)  
柳澤 克之(市立札幌病院 内分泌代謝内科)
- 顧問  
野中 共平(久留米大学 名誉教授)

先進インスリン療法研究会 事務局  
事務局長:難波 光義(兵庫医科大学 内科学糖尿病科)  
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1  
Tel:0798-45-6591 Fax:0798-45-6593

## お問い合わせ先——運営事務局

第7回先進インスリン療法研究会 運営事務局  
(株)インターグループ内 担当:今井  
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-20-1  
E-mail:secret-2@intergroup.co.jp  
Tel:06-6372-9345 Fax:06-6376-2362

# 第7回 先進インスリン療法研究会

## 21世紀のインスリン治療戦略

~最新インスリンでどこまでできるか~



## 開催にあたって

先進インスリン療法研究会は2001年インスリンアナログ製剤が日本で初めて市販されたのとほぼ同時にスタートしました。その後、持効型や混合型アナログ製剤が相次いで臨床の場に導入され、インスリンアナログは21世紀の糖尿病診療に不可欠の治療薬となっています。第7回を迎える本年は、従来のヒトインスリンを含めて様々な薬物動態をもつインスリン製剤が出揃った年といえるでしょう。インスリン注入デバイスも、ペン型注入器の改良に加え持続皮下インスリン注入(CSII)装置の多くが基礎注入速度のプログラム可能なものとなりましたし、皮下組織間液のグルコース濃度を5分間隔で測る持続血糖測定装置が実用化されるなど、技術的な進歩も目覚ましいものがあります。

一方、正常血糖を目指した積極的な強化インスリン療法が細小血管合併症の発症を予防できるだけでなく、長期間にわたって大血管合併症を抑制しうることがDCCTの予後調査で証明されました。さらに、血管合併症の予防にはHbA1cを低下させるだけでなく、食後高血糖を抑制した血糖変動の安定化が重要であることが広く認識されてきました。

しかし、糖尿病治療の現場においては、1回あるいは2回注射の「従来法」の比率がまだまだ高く、最善の治療が十分普及しているとはいえません。もちろん、1型糖尿病はもとより2型糖尿病であっても、食前・食後・夜間を通じて良好な血糖コントロールを実現するのは容易なことではありません。インスリン分泌が低下した症例で、低血糖を回避しつつこの困難な課題を果たすには、インスリン製剤の特徴を深く理解し、新しい技術を駆使した治療手段が要求されます。

そこで本研究会のテーマは「21世紀のインスリン治療戦略-最新インスリンでどこまで出来るか-」としました。ご応募いただいた多くの一般演題に加え、講演、体験談などを通じて、先進的インスリン治療の現状と未来について討議し、理解を深めることができる研究会になることを期待しています。多数の方々のご参加をお待ちしております。



第7回先進インスリン療法研究会当番世話人  
久留米大学医学部 内科学講座  
内分泌代謝内科部門

山田 研太郎

# 第7回 先進インスリン療法研究会プログラム

## ● 21世紀のインスリン治療戦略 ~最新インスリンでどこまでできるか~ ●

開会の辞 10:00~10:05

山田 研太郎 久留米大学医学部 内科学講座  
内分泌代謝内科部門

### I. 会長講演

10:05~10:35

座 長 難波 光義 兵庫医科大学 内科学糖尿病科

「インスリン強化療法のストラテジー~ 24時間の糖代謝正常化を目指して~」

山田 研太郎 久留米大学医学部 内科学講座  
内分泌代謝内科部門

### II. 患者様の体験談

10:35~11:00

座 長 岡田 朗 岡田内科クリニック

「僕の人生を変えたインスリンポンプ」

Nils Olson

### III. 特別講演

11:00~11:50 (共催 日本イーライリリー株式会社)

座 長 柳澤 克之 市立札幌病院 内分泌代謝内科

「1型糖尿病の診断と治療」

小林 哲郎 山梨大学医学部 第三内科

### IV. ランチョンセミナー

12:00~12:50 (共催 日本メドトロニック株式会社)

座 長 雨宮 伸 埼玉医科大学 小児科

「CSII and the Australian Sensor-augmented Pump (ASAP) Study」

Dr David O'Neal (MBBS, MD, FRACP)  
The University of Melbourne St Vincent's Hospital

### V. 一般演題

13:00~15:30

座 長 津田 晶子 木戸病院 内科

1. 「CSIIを導入した1型糖尿病の10症例」

山下 富都 埼玉医科大学 内分泌・糖尿病内科

2. 「CSII時の種々の主食摂取後の血糖値変動」

御前 智子 山梨大学医学部附属病院 薬剤部

3. 「CSII用シリンジOリング内の液漏れに関する検討」

大野 敬三 愛媛県立中央病院 糖尿病内分泌代謝内科

座 長 川村 智行 大阪市立大学大学院 発達小児医学教室

4. 「日本人1型糖尿病患者の基礎インスリン注入設定の日内変化は欧米人より少ない~CSII注入の過去4週間の全履歴から~」

広瀬 正和 大阪市立大学大学院 医学研究科 発達小児医学

5. 「乳児糖尿病の1例におけるインスリン治療の課題」

赤塚 淳弥 埼玉医科大学 小児科

6. 「1型糖尿病患者の基礎インスリン補償におけるインスリングルルギンの有用性~NPHインスリンからのきりかえによる比較検討~」

勝野 朋幸 兵庫医科大学 糖尿病科

7. 「超速効型混合製剤の食後血糖制御作用~血糖持続測定による検討~」

加藤 智子 久留米大学 内分泌代謝内科

座 長 丸山 太郎 埼玉社会保険病院 内科

8. 「インスリン療法における注射部位の重要性」

南雲 千夏子 埼玉社会保険病院 看護局

9. 「1日9回のSMBGによるインスリンの变量

消化器疾患治療薬併用の考察」

百木 忠久 小田原市立病院 糖尿内分泌科

10. 「インスリン使用2型糖尿病患者におけるヒオグリタゾン追加投与の効果」

田中 剛史 国立病院機構 三重中央医療センター 内科

11. 「各自の生活に合わせた強化インスリン療法支援システム構築に向けて」

青木 雄次 国立病院機構 松本病院 内科

### VI. 総会、コーヒーブレイク

15:30~16:00

### VII. 教育講演

16:00~17:00 (共催:ノボ ノルディスクファーマ株式会社)

座 長 鴨井 久司 長岡赤十字病院 糖尿病内分泌代謝センター

「CGMSデータを用いたインスリンアナログ製剤の使用例」

西村 理明 東京慈恵会医科大学糖尿病・代謝・内分泌内科

閉会の辞 17:00~17:05

雨宮 伸 埼玉医科大学 小児科 (次回当番世話人)

### メーカー展示

10:00~17:00 1F 研究室1

参加予定企業 (50音別)

- サノフィ・アベンティス ● 三和化学研究所
- ジョンソン・エンド・ジョンソン ● トップ ● ニプロ
- 日本メドトロニック ● 日本イーライリリー
- ノボノルディスクファーマ